

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 1 月 22 日作成)

小委員会名	安全計画小委員会	主 査 名: 掛川秀史 就任年月: 2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名: 布野修司 主 査 名: 大野隆造
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2010 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・設置目的: 建築の新しい形態や使われ方、関連技術の進歩にともなって発生する危険要因を抽出し、それに対応した安全計画のあり方を提案する。</p> <p>&lt;活動計画&gt; テーマ「転落、追突等の日常災害に対する安全計画」</p> <p>2008 年度: 近年の日常災害事例の収集・分析、現状の安全計画の実態調査等を行い、日常災害に対する安全計画上の課題を整理する。</p> <p>2009 年度: 災害の種類別、建物用途別に、具体的な安全計画のあり方を整理する。活動成果をとりまとめ、シンポジウムを開催する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無: あり(1名)</p> <p>掛川秀史(清水建設), 村井裕樹(兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所), 八木真爾(佐藤総合計画), 北嶋秀明(ETRA), 桑名秀明(鹿島建設), 佐野友紀(早稲田大), 土屋伸一(明野設備研究所), 萩原一郎(建築研究所), 林 広明(大成建設), 古川容子(日本建築センター), 水落秀木(清水建設), 宮崎淳(日本設計), 山本昌和(東日本旅客鉄道), 以上 13 名</p>	
設置 WG (WG 名: 目的)	<p>名称: 防災計画デザインガイド編集 WG(主査: 吉田克之)</p> <p>目的: 安全な建物を実現するうえで必要な考え方や対策などをまとめた、総合的な視点に立った防災計画の設計のガイドラインを作成する。</p>	
2008 年度予算	195,000 円	ホームページ公開の有無: あり 委員会 HP アドレス: <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s6/">http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s6/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	「図解 火災安全と建築設計」
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 小委員会を 8 回開催(2009 年 1 月時点)し、小学校や共同住宅での児童を対象とした転落等の日常災害に対する安全計画について、事故事例の収集・分析、設計事例の収集、国交省との情報交換、設計者へのヒアリング計画の立案等を実施した。次年度の活動の方向性が概ね確定し、当初の目的を達成できた。</p> <p>2. 防災計画デザインガイド編集 WG において活動してきた「図解 火災安全と建築設計」の原稿校正作業がほぼ終了し、2009 年 3 月に朝倉書店から刊行の予定。WG 設置の目的を達成できた。同 WG は 2008 年度で廃止する。</p> <p>3. 第 19 回安全計画シンポジウム(2008.3.12)の記録を作成し、HP 上で公開した。</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会 HP の定期的な更新と管理体制の確立(現状では特定の委員に管理を依頼している。)

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。